

特集にあたって：いま、大田教育学から学ぶ

田 邊 尚 樹 ・ 渡 邊 真 之

本特集は、基礎教育学コースの院生有志による「大田教育学勉強会」の中間報告であり、私たちが大田教育学から学んでいることの途中経過をまとめたものです。

大田堯先生が、2018年12月23日に、さいたま市のご自宅で逝去されました。訃報を受け、教育とは何かを問い続けてこられた大田教育学を改めて学ぼうと、これから教育を考えていこうとする院生有志が集いました。それが「大田教育学勉強会」です。大田教育学勉強会は、これまでに四回おこなわれました。第一回では、映画「かすかな光へ」を鑑賞しました。第二回では、院生が大田教育学のなかで深めてみたい点を、大田先生の略歴を振りかえって検討しました。第三・四回では、大田ゼミに所属していた、田嶋一先生（國學院大學）と上野浩道先生（東京藝術大学）にお越しいただき、院生とともに大田教育学を深めていただきました。これら全四回の勉強会を通して、院生が考え、気づき、学び、そしてさらに深めてみたい点をまとめた報告が、本特集です。

特集は三部から構成されています。

第一部では、2017年11月4日に埼玉大学で行われた『地域の中で教育を問う』公刊記念会ならびに埼玉大学特別公開講座に向けた案内文と公開講座内のあいさつ文を取録しています。大田先生は、この会をご自身にとっての生前葬としても位置付けておられたようです。今回、大田教育学から学びなおすにあたって、晩年の大田先生のご発言を取録させていただくことになりました。

第二部では、大田教育学研究会第四回（2019年4月20日）にお招きした上野浩道先生のインタビューを掲載しています。上野先生には、指導教官としての大田先生との出会い、大田先生から学んだことなどを「教育を通しての人間のlifeの研究—大田堯先生の追究されたこと—」としてご報告いただきました。3時間以上にわたる上野先生のご報告や院生との対話のすべてを掲載することはかないませんが、その一部を載せています。

第三部には、大田教育学研究会に出席した院生・学生が、四回の研究会を通して何を学んだのかについて原稿を寄せています。学び始めたばかりで、まだまだ深まっていない文章かもしれませんが、一人一人が自分の言葉で自分の学びを綴っています。「研究会中間報告」とあるように、研究会はこれで終わりではありません。大田教育学との出会いと学びをきっかけに、院生同士で学びあうなかで、さらに大田教育学への理解を深めていくと同時に、自分たちの教育学を深めていく経過の報告として読んでいただければ幸いです。

本特集ならびに大田教育学研究会は、直接間接問わず、たくさんのおみなさまからご支援をいただきました。そのすべてを記すことはできませんが、なかでも、第一部の案内文・あいさつ文の本誌への掲載をご快諾下さった安藤聡彦先生（埼玉大学）、相馬直美さん、本研究会にお越しいただき、たくさんのお学びを与您下さった上野浩道先生、田嶋一先生に、心から感謝申し上げます。